



車いすを寄贈していただきました。

2019年9月4日、入院されていた越知様の奥様より車いすを寄贈していただきました。退院されてから1カ月半余り、奥様より「とても良くして頂いたので、何かしたい」との思いから、車いすの寄贈を思い立たれたそうです。理事長・院長をはじめ職員一同の感謝の気持ちを伝えると共に、院長より「感謝状」をお送りしました。今回寄贈頂きました車いすは病棟で、入院患者様の為に大切に使用させて頂きます。ありがとうございました。



手指衛生の勉強会を開催しました。

手洗いは医療機関の感染対策のなかで最も基本となる方法です。そこで今回は基本に立ち返り、全職員を対象に「手指衛生について」の院内勉強会を業者様の専任講師をお招きし開催しました。「感染防止は手洗いから始まる」と言われるほど手洗いは感染防止対策上最も基本的かつ重要な対策です。手指には目に見えない多くの細菌やウイルスが付着している可能性があり、もしそれが患者様に伝播すると院内感染発生の原因となります。今回の勉強会では他院における院内感染事例も交えつつ、手洗いの手順や環境整備の重要性などを改めて学び、手指衛生は最も効果的な感染対策であるという事を再認識しました。



今回の講習会を毎日の業務に生かし、患者様が安全に療養できる環境づくりに役立てていきたいと思っております。

本館看護師 腮尾 加奈恵

神無月
10月は神無月とも呼ばれ、その意味は全国の神様が出雲大社に集まり他の地域におられなくなるからだと伝えられますがこれはあくまで一説のようで、神の月↓神無月、10月は雷が鳴らないので雷無月↓神無月など諸説多々あるようです。出雲大社の御祭神「大国主大神」は自分の子供たちに日本各地を護らせ、一年に一度その子供たちと他の神々を出雲大社へ呼び寄せて今という全国都道府県知事会議みたいな？会議を開いたらいいですが、日本中の神様が一齐に出雲大社へ集まるとその間は神様が不在の土地ばかりになってしまう。それでは困るということで留守番をする神様もおられる様で、地域によって違うようですが代表的な留守居神が漁業・商業・農業の神として古くから信仰されている「恵比寿神」です。日本各地でこの時期に恵比寿様に感謝する「えびす講」が行われるのはこのためです。他にも、「火の神である「竈神（かまどしん）」や、「大黒様」なども留守居神のようです。ただこの話も、中世以降に出雲大社の御師（今でいう観光宣伝係）が盛んに全国に広めた作話とされている。「徒然草」の作者とされている吉田兼好は、「十月には神様たちが集まるとか言う説があるが全然根拠ない話だ」と記しています。まあ、それを言っているのは元も子もないので、ここは吉田兼好さんにはご遠慮いただき、全国の神様がいたお越しになつて居ることお信じて、新蕎麦の時期でも足延してみても如何でしょうか。



診療案内

月曜日～金曜日 午前：9時～12時 午後：4時～6時
土曜日 午前：9時～12時 午後：休診
休診日：日曜・祝日・年末年始（12月31日～1月3日）・お盆（8月15日）

担当医

月曜日	午前：青山	午後：宮里	木曜日	午前：大村	午後：宮里
火曜日	午前：宮里	午後：大村	金曜日	午前：宮里	
水曜日	午前：大村	午後：細川・森本 (腎臓内科)	土曜日	午後：石橋(脳神経内科)	午前：内科(交代制)

季節の風景



色づき始めました。